



令和7年12月24日
徳島河川国道事務所

E55 とくしまなんぶ 徳島南部自動車道 小松島南 IC～阿南 IC 間が
令和8年3月8日（日）に開通します

1. 開通日時 令和8年3月8日（日）
2. 開通区間 小松島南 IC ～ 阿南 IC
(徳島県小松島市立江町 ～ 徳島県阿南市下大野町)
3. 延長 3.2 km

開通により期待される効果

- 効果①** : 新たなルート形成による周辺道路の混雑緩和
- 効果②** : 交通転換による交通事故のリスク低減
- 効果③** : 搬送時間短縮等による救急医療活動支援
- 効果④** : 地域産業を支援

- 開通に先立ち、「開通式典」を予定しております。
- 開通式典、開通時刻等の詳細な内容については後日お知らせいたします。
- 開通を記念し、特設サイトを徳島河川国道ホームページに掲載する予定です。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「No. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

徳島河川国道事務所ホームページ
(<https://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/index.html>)



X (旧twitter) 情報
(https://x.com/mlit_tokushima)

ホームページ X (旧twitter)

【発表先】徳島県政記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 TEL : 088-654-2211 (代表)
副所長 (道路) 水野 匡洋 (みずの まさひろ)
○工務第二課長 吉香 英世 (よしか えいせい)

○…主な問い合わせ先

徳島南部自動車道の概要

- 徳島南部自動車道は四国8の字ネットワークの一部を形成し、近畿圏と徳島県南部地域の連携強化や徳島市・小松島市・阿南市の渋滞緩和を図るほか、災害時における代替路としての役割を担う道路です。
- 今回、小松島南IC～阿南IC間（延長3.2km）が令和8年3月8日に部分開通することで、新たなルート形成による渋滞緩和に加え、交通転換による交通事故減少、搬送時間短縮等による救急医療活動支援などが図られます。

〈位置図〉



四国8の字ネットワークとは？

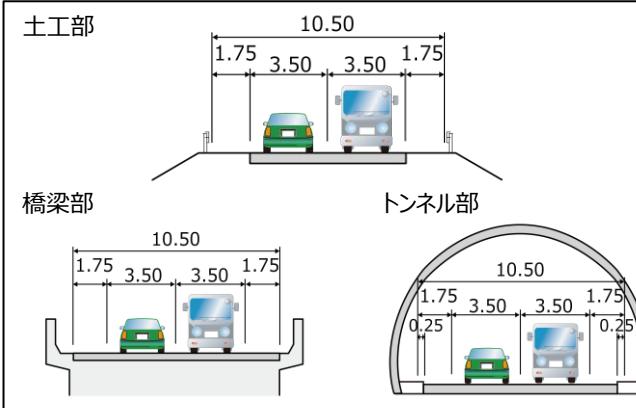
四国4県を結ぶ将来の高速交通ネットワークの愛称です。
「8の字」の様に見えることから名付けられました。

〈事業概要〉

事業名	四国横断自動車道（阿南～徳島東）
区間	自）徳島県阿南市下大野町渡り上り 至）徳島県徳島市北沖洲
延長	17.3km（今回開通区間：3.2km）
構造規格	第1種第2級：自動車専用道路 設計速度：100km/h【80km/h】 車線数：4車線（暫定2車線） 標準幅員：23.5m【10.5m】

※【】内は、暫定2車線開通時の計画

〈標準断面図〉



〈開通区間の状況〉



〈平面図〉



【整備効果①】新たなルート形成による周辺道路の混雑緩和

- 那賀川渡河部を中心に、通勤時の朝夕ピーク時間帯に渋滞が発生し、円滑な交通が妨げられています。
- 今回の開通により、渋滞箇所を回避した新たなルートの形成による所要時間の短縮や交通転換による周辺道路の混雑緩和が期待されます。

〈周辺道路の交通渋滞箇所〉



〈那賀川渡河部付近の渋滞状況〉

写真①：県道22号

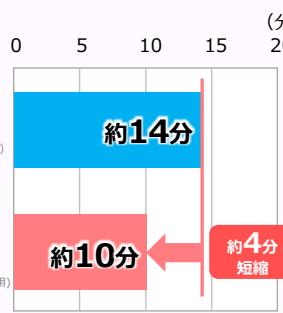


写真②：県道130号

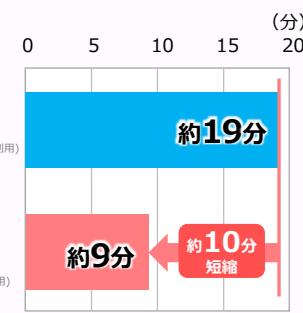


〈所要時間の変化〉

▼勝浦町沼江交差点～阿南IC



▼立江川橋西詰交差点～阿南IC



資料) ETC2.0プローブデータ (R6.9-10【平日】) 混雑時平均旅行速度
今回開通後: 小松島南IC～阿南IC [規制速度70km/h]

【地域（世界的LEDメーカー）の声】

- ・従業員の出退勤には主に車が使用されており、時差出勤を使っても各工場に3,000台ほどの通勤車両が向かっています。
- ・今回開通する区間は、多くの従業員が通勤で利用すると考えおり、これまでの通勤ルート（県道22号、県道130号など）の混雑緩和につながると思われます。



【整備効果②】交通転換による交通事故のリスク低減

- 今回開通区間周辺の県道(大林北交差点～上中町交差点、萱原交差点～上中町交差点)では、徳島県内平均を上回る死傷事故率が確認されており、追突や出会い頭による事故が多発しています。
- 今回の開通による交通転換により、周辺の県道における交通事故のリスク低減が期待されます。

〈平面図〉



〈死傷事故率 (R2～R5)〉

死傷事故率 (件/億台キロ)

徳島県内の国道及び県道の平均死傷事故率 (R2～R5)

32.1 件/億台キロ

334.8 件/億台キロ

260.1 件/億台キロ

死傷事故率
■ 交差点部
■ 単路部

資料) ITARDAデータ (R2～R5)

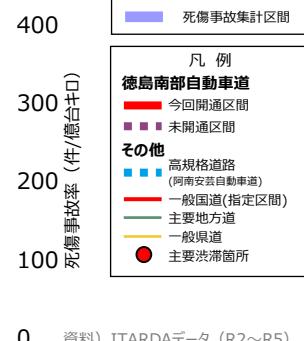
〈死傷事故率 (R2～R5)〉

256.6 件/億台キロ

322.4 件/億台キロ

徳島県内の国道及び県道の平均死傷事故率 (R2～R5)
32.1 件/億台キロ

死傷事故率
■ 交差点部
■ 単路部



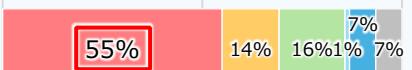
【警察関係者の声】

- ・今回開通区間に周辺の県道(130号、24号)では、通勤時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生しており、信号交差点や店舗等が点在していることによる急な減速や右左折車との速度差などにより、追突事故が多発しています。
- ・また、県道22号では周辺に企業や工場が立地し、通勤時間帯の交通量がかなり多く、追突事故が多発する一方、脇道からの流入による出会い頭事故も多発しています。
- ・今回の開通により、これまで県道(130号、24号)に集中していた交通量が分散されることで、慢性的な渋滞が緩和され、事故の減少が期待されます。

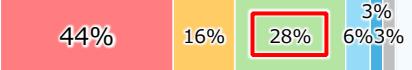


〈事故類型 (R2～R5)〉

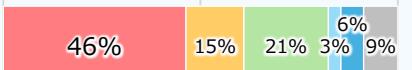
▼県道130号・24号
〔91件/4年〕



▼県道22号
〔32件/4年〕



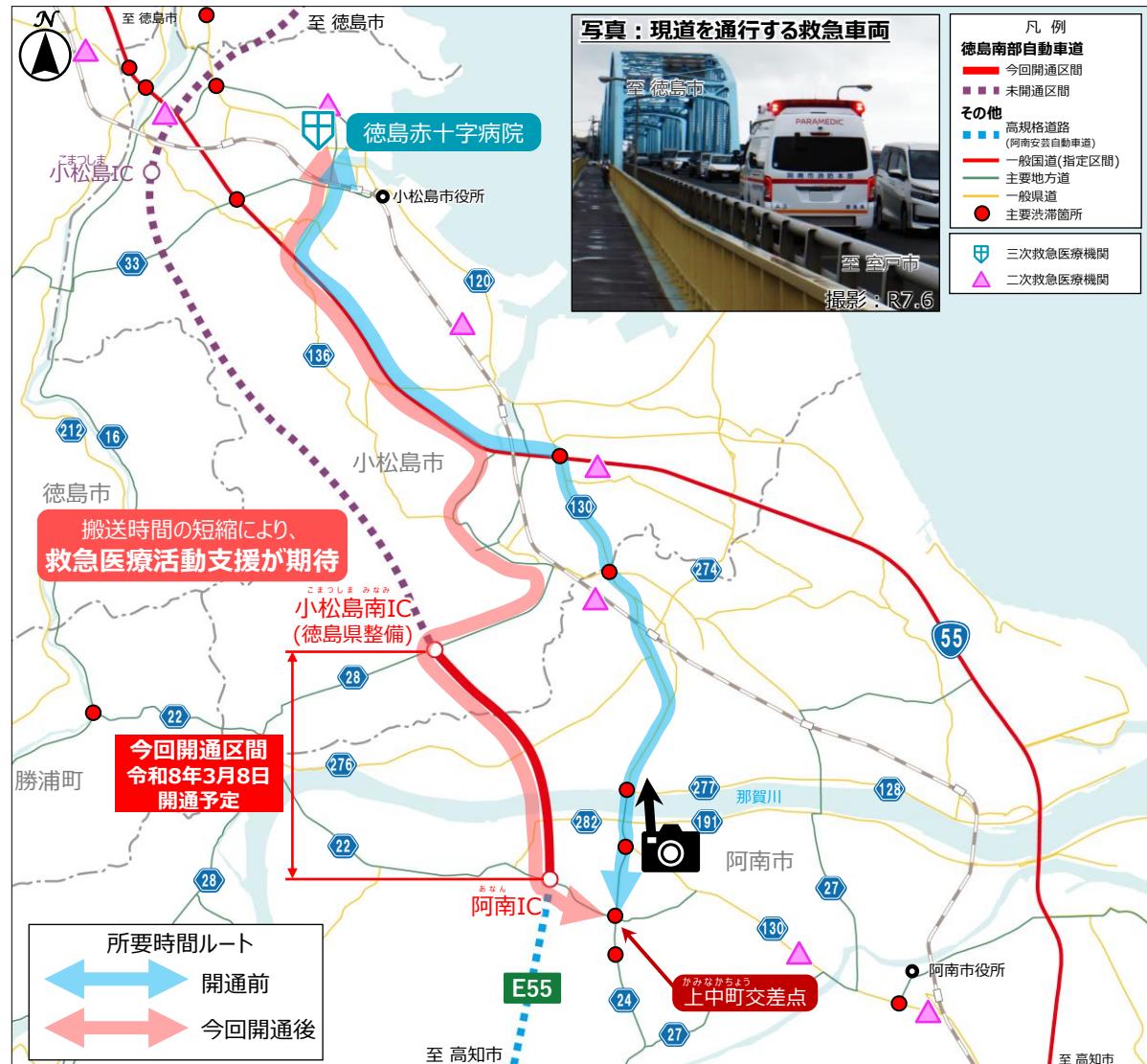
▼徳島県内の国道及び県道
〔5,408件/4年〕



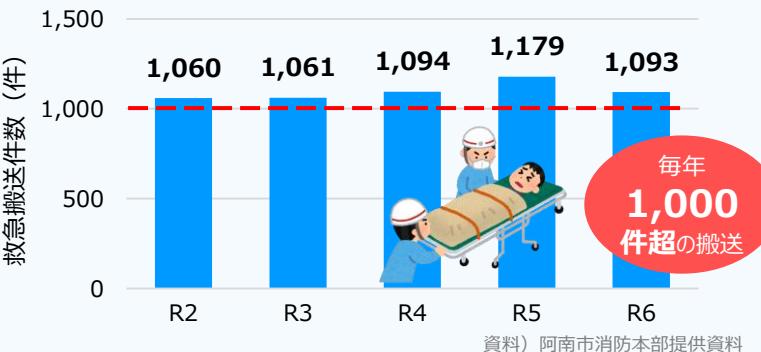
【整備効果③】搬送時間短縮等による救急医療活動支援

- 阿南市から最寄りの三次救急医療機関である徳島赤十字病院へは、毎年1,000件を超える救急搬送が行われています。
- 今回の開通により、**搬送時間の短縮や交通状況を踏まえた搬送ルートの選択が可能となるなど救急医療活動支援が期待**されます。

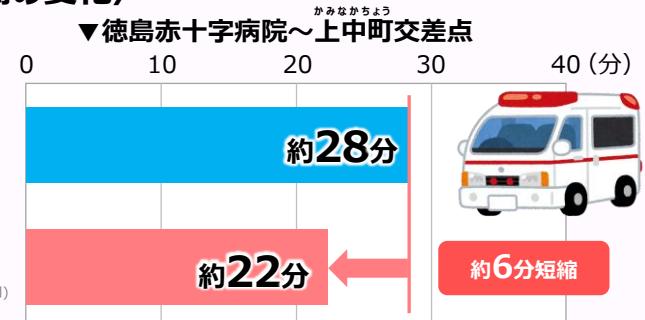
〈平面図〉



〈阿南市～徳島赤十字病院への救急搬送件数〉



〈所要時間の変化〉



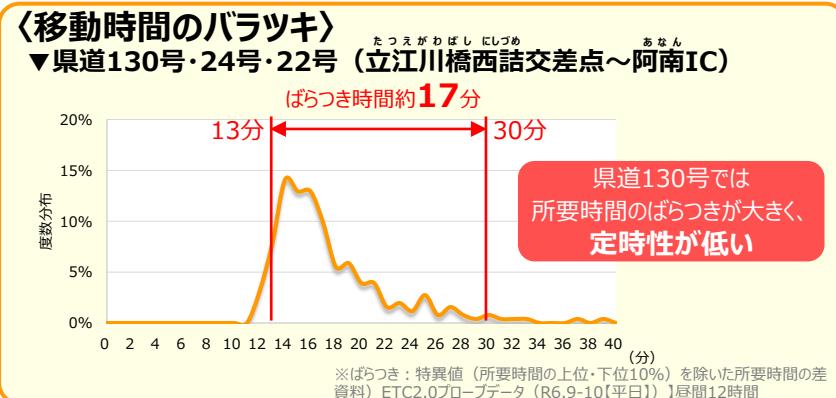
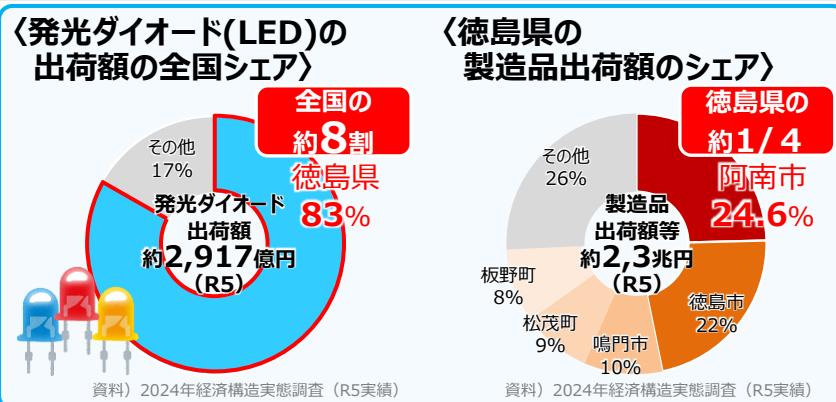
【救急医療関係者の声】

- これまででは阿南市西部・南部からの救急搬送には県道130号だけしか使用できませんでしたが、徳島南部自動車道（小松島南IC～阿南IC）が開通すれば、交通状況によって、**救急搬送時のルート選択が可能**となります。
- また、県道130号の**渋滞が緩和**されることで**搬送時間の短縮効果**も期待されます。



【整備効果④】 地域産業を支援

- 徳島県の発光ダイオードの出荷額は全国の8割を占めており、阿南市には世界的なLEDメーカーをはじめとしたLED関連企業が数多く立地していることで製造品出荷額は県内1位となっており、徳島県の経済を牽引しています。
 - 今回の開通により、災害による通行止めや混雑などの影響を受けない信頼性の高い搬送ルートが形成され、LED関連企業を含めた地域産業の支援に寄与することが期待されます。



【地域（世界的LEDメーカー）の声】

- ・世界との価格競争に勝つには、物流コストの縮小も重要な要素のひとつです。一方で、ドライバー不足や拘束時間の短縮といった課題があるため、移動時間の短縮や定時性が向上すれば物流効率化につながると考えています。
 - ・また、災害などで道路が寸断されると、入出荷ができず事業継続に大きな影響を及ぼすため、新たなルートの整備は必要不可欠と考えています。

